（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（北アルプス地域）

令和５年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	大糸線利用促進事業
事業主体 （連絡先）	小谷村大糸線振興会議 小谷村大字中小谷丙 131 番地
事業区分	(6)産業振興及び雇用拡大に関する事業-特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	6,321,320 円（うち支援金：4,750,000 円）

事 業 内 容

(1) 各駅をテーマにしたアクリルスタンド・ガチャガチャを設置

設置場所：糸魚川駅及び南小谷駅・小谷村図書館

・糸魚川駅から南小谷駅までの 9 駅をテーマにアクリルスタンドをカプセルに封入

・アクリルスタンドに凹凸を設けて 9 駅を繋げられ、9 駅全てを集めたときにパノラマが完成するため収集欲を喚起。

(2) 大糸線沿線の景観向上　車窓から見える雑木の伐採

・大糸線沿線支障木の伐採を 4 箇所実施。

【　　】

【目標・ねらい】

①ガチャで楽しみ、乗って楽しむ
②大糸線を集めて楽しむ
③渓谷等の車窓の提供
④車窓から北アルプスの提供

事 業 効 果

(1) 各駅をテーマにしたアクリルスタンド・ガチャガチャを設置

・子どもにも求めやすい 300 円で提供

・当初計画の 900 個は設置から 2 か月弱で完売し、急遽追加発注する程の人気があった。

・別の角度から大糸線を話題にすることができた。

(2) 大糸線沿線の景観向上　車窓から見える雑木の伐採

・車窓からの景観が向上し、乗車の満足度を上げることができた。

※自己評価【　A　】

【理由】
大糸線ガチャは、当初計画の 900 個は設置から 2 か月弱で完売。
令和 6 年 1 月中旬時点において約 1,650 個を提供することができている。

今後の取り組み

大糸線の魅力を伝えていくために、「車窓の眺め」と「グッズの製作・販売」を行ったが、利用を促進する方法として、様々なアイデアやターゲットが想定される。

引き続き大糸線利用促進に向けて継続した取組みを実施し、住民や民間事業者と連携する中で魅力ある情報発信とイベント企画をしていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある